

株式会社エヌエスアイ

2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2024年5月~2025年4月)



発行日：2025年6月30日



株式会社エヌエスアイ 代表取締役社長 佐藤 豊

目次

組織の概要	P2
対象範囲（認証・登録範囲）	P2
実施体制図・役割権限表	P3
環境経営方針	P4
主な環境負荷の実績	P5
環境経営目標	P5
環境目標の実績	P6
環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容	P7
環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無	P8
代表者による全体評価と見直しの結果	P8

□組織の概要

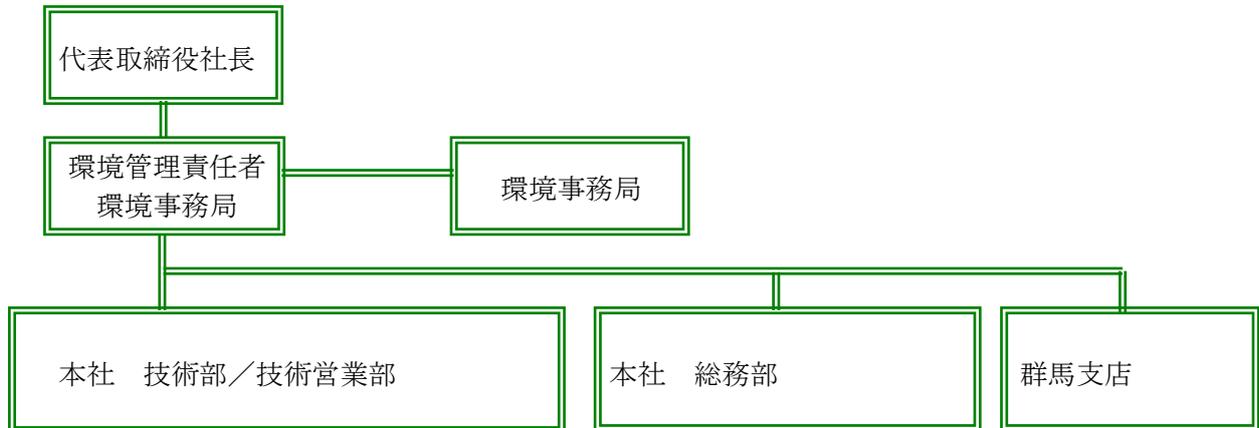
- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社エヌエスアイ
代表取締役社長 佐藤 豊
- (2) 所在地
本 社：〒942-0063 新潟県上越市下門前2356番地
群馬支店：〒379-0116 群馬県安中市安中3526-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務部長：佐藤 忠 TEL：025-520-7736 E-mail：t_sato@net-nsi.co.jp
担当者 総務部：小山 一輝 TEL：025-520-7736 E-mail：koyama@net-nsi.co.jp
- (4) 事業活動の内容
FAシステム等開発、各種制御盤設計・製作・工事・保守、各種パソコン、周辺機器、電子部品、計測機器販売
- (5) 事業の規模(2024年度)
製品出荷額：12.1億円
従業員数：本社：31人、群馬支店：14人
延べ床面積：本社715.82m²,群馬支店264.98m²
- (6) 事業年度
5月～4月

□対象範囲（認証・登録範囲）

- (1) 組織：
対象事業所
本社
群馬支店
- (2) 活動：
全活動



株式会社 エヌエスアイ 実施体制図・役割権限表



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 ・「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社エヌエスアイ

環境経営方針

<環境理念>

株式会社エヌエスアイは、FAシステム等開発・各種制御盤設計製作を行う企業としての活動が、地域及び地球環境に与える影響を十分に認識し、環境に配慮した事業活動を行うことを環境理念とし以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、経営における課題とチャンスを踏まえ継続的な改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
電力の消費や業務車両の燃料消費などに伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。(LED照明等の導入検討、エコカーの導入検討)
 - ② 廃棄物排出量の削減
廃棄物排出量の削減とリサイクル率の向上に努めます。
 - ③ 総排水量の削減
水資源使用量の低減に努めます。
 - ④ グリーン購入の推進
グリーン購入法に適合している製品を優先的に購入し、使用することに努めます。
 - ⑤ 環境に配慮した製品の開発
開発製品には環境配慮型の部品を選定し、お客様の業務効率向上を導く製品のご提案をする事で省エネルギー化を図る製品開発に努めます。
 - ⑥ ユーザーへの貢献度の向上
作業効率、能率の向上を心がける事により、エネルギーの消費、人件費の削減に努めます。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2012年5月1日

改訂日：2023年6月30日

代表取締役社長

□主な環境負荷の実績

項目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
総二酸化炭素排出量	84,957 kg-CO2/年	88,965 kg-CO2/年	91,472 kg-CO2/年
廃棄物排出量			
一般廃棄物	2,475 kg/年	3,190 kg/年	2,298 kg/年
産業廃棄物	80 kg/年	770 kg/年	0 kg/年
総排水量（水道水使用量）	345 m ³ /年	313 m ³ /年	336 m ³ /年
PRTR 制度対象物質使用量	0 kg/年	0 kg/年	0 kg/年

□環境経営目標

	環境目標	基準年度	目標値		
		2019～2021 年度の平均	2022 年度	2023 年度	2024 年度
		5～4 月	5～4 月	5～4 月	5～4 月
1	環境方針：二酸化炭素排出量の削減 2019～2021 年度の平均を基準として、 2024 年度末までに、二酸化炭素排出量 を 3%削減する	77,045 kg-CO ₂	76,274 kg-CO ₂ 1%削減	75,504 kg-CO ₂ 2%削減	74,733 kg-CO ₂ 3%削減
2	環境方針：二酸化炭素排出量の削減 業務車両の燃費（軽油＋ガソリン）に ついて、2019～2021 年度の平均を基準 として、2024 年度末までに燃費を 3%向 上させる	12.9 km/ℓ	13.0 km/ℓ 1%向上	13.2 km/ℓ 2%向上	13.3 km/ℓ 3%向上
3	環境方針：廃棄物排出量の削減 一般廃棄物排出量の削減について 2019 ～2021 年度の平均を基準として、2024 年度末までに排出量を 3%削減させる	3,759 Kg	3,721 Kg 1%削減	3,683 Kg 2%削減	3,646 Kg 3%削減
4	環境方針：廃棄物排出量の削減 リサイクル率 100%を目指す	81 %	100 %	81 %	81 %
5	環境方針：総排水量の削減 2019～2021 年度の平均を基準として、 2024 年度末までに、水道水使用量を 3%削減する	355 m ³	351 m ³ 1%削減	347 m ³ 2%削減	344 m ³ 3%削減
6	環境方針：グリーン購入の推進 2024 年度末までに、事務用品のグリー ン購入率を 6%向上させる	70 %	71 % 2%向上	72 % 4%向上	74 % 6%向上
7	環境方針：環境に配慮した部品使用 インバータ導入提案, 台数確認 (群馬)	-	取組目標とする		
8	ユーザーへの貢献度の向上 プッシュインタイプ端子台を提案 (本社)	-			

注：二酸化炭素排出係数は 2017 年度の東北電力株式会社の調整後排出係数 0.5230kg-CO2/kWh を使用した。

□環境経営目標の実績

	環境目標	環境目標の実績			達成状況	結果の評価・考察
		基準年は 2019～2021 年度の平均		単位と 基準年比		
1	二酸化炭素排出量の削減	基準年 目標 実績	77,045 74,733 90,530	kg-CO ₂ 97% 118%	×	遠方への出張台数の増加に伴い、ガソリン使用量が大幅に増加したことが要因で、CO ₂ 排出量も大幅に増加したと考えられる。
2	業務車両の燃費の向上	基準年 目標 実績	12.9 13.3 12.7	Km/L 103% 98%	×	基準年と比較して車両の平均年式が約1年古くなっており、燃費悪化の一因となったと考えられる。
3	一般廃棄物の排出量の削減	基準年 目標 実績	3,759 3,646 2,298	Kg 97% 61%	○	年度内目標達成。 取扱部材等は平年並みにも関わらず、目標値の大幅削減を達成。
4	産業廃棄物のリサイクル率の向上	基準年 目標 実績	81 81 -	% 100% -%	○	産業廃棄物排出ゼロ目標を達成。
5	総排水量の削減	基準年 目標 実績	355 344 334	m ³ 97% 94%	○	年度内目標達成。 水の使用箇所は限定的だが、引き続き節水を呼びかける。
6	事務用品のグリーン購入率の増加	基準年 目標 実績	70 74 79	% 106% 113%	○	年度内目標を達成。 グリーン用品への切替えがうまくいった。
7	環境配慮型部品の使用割合を増やす	インバータ導入提案(群馬)省エネ効果	2024年度 3件目標	客先へ20台の導入提案	○	導入提案を継続し、導入数は昨年同様となり目標達成。
8	ユーザー貢献度の向上	プッシュインタイプ [®] 端子台を提案(本社)省工数効果	24年度客先へ提案推進	プッシュインタイプ [®] の端子台を提案	○	積極的に当社装置への使用することが出来た。
		ノー残業 Day の遵守	2024年度 90%以上	ノー残業 Day の実施率は100%	○	実施率100%の維持。 DX 導入による日々の業務効率化を進める。

□環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

	環境経営目標	環境経営計画の内容	取組結果とその評価 (2024年5月～2025年4月)	次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	昼休みの不要照明の消灯	消灯を実施しているが効果が不透明。	周知徹底及び効果の可視化の検討継続。
		クールビズ・ウォームビズ運動の呼びかけ	クールビズは定着	現状の継続
		二酸化炭素排出量の周知	燃費同様、月毎に社内発表。	二酸化炭素排出量が分かり辛い。発表方法の検討継続。
		工程ロス削減による稼働時間短縮	ノー残業 Day を取り入れたが、効果が不透明。	ノー残業 Day の徹底により効果を期待。
2	業務車両の燃費の向上	急発進・急加速の禁止	車両毎の燃費を社内発表。	現状の継続
		定期メンテナンス	週1回全ての社用車をチェック。	現状の継続
3	一般廃棄物のデータ把握	ゴミの分別の徹底	徹底できた。	現状の継続
		裏紙使用の徹底	徹底できた。	現状の継続
4	産業廃棄物のリサイクル率の向上	ゴミの分別の徹底	徹底できた。	現状の継続
		リサイクル可能な排出先の検討	使用不可処理業者選出。	リサイクル業者の選定
5	水道水使用量の削減	水道水の出し過ぎ禁止	節水の呼びかけを実施	現状の継続
6	事務用品のグリーン購入の推進	エコ事務用品の購入推進	集計方法を品目別に変更。購入率が上がった。	現状の継続
		エコ事務用品の情報収集	移行できるエコ事務用品の調査不十分。	エコ事務用品への移行調査継続。
7	環境配慮型部品使用	使用部品・資源の情報収集	検討会議にて情報共有ができた。	インバータ導入提案を継続し、導入数を増やす。
		DCリアクトルの接続を推進		
		インバータ導入を提案	客先へ20台の導入提案をした。	
8	ユーザーへの貢献度の向上	プッシュタイプ [®] の端子台を提案推進（省工数効果）	客先へ提案推進	来期は具体的な目標設定を検討。また、別提案も検討。
		ノー残業 Day の遵守	ノー残業 Day を100%実施	実施率100%の維持。導入日数の検討。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
上越市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例
安中市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例
南越清掃組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例
浄化槽法
フロン排出抑制法
消防法
顧客要請（仕様書）

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果 見直し実施日：2025年6月27日

- (1) 環境経営方針
現状のままとする
- (2) 環境経営目標・環境経営計画
経済活動の正常化により2025年度からの目標値を確認。
- (3) その他の環境経営システム
ユーザーより求められる環境規制に対応したリスクリングの継続。
- (4) 実施体制
現状のままとする
- (5) 総括
環境規制グリーン調達等、多様化するコンプライアンスに対応する環境システムの構築を継続。

以上